

2023 春闘要求書提出！

私たちの職場は私たちが作る！



はちおうじ

自治労
八王子市
職員組合
教育宣伝部

2 月 24 日、2023 春闘要求書を岩田委員長から木内副市長に手渡しました。

組合は、春闘を一年の労働条件向上のための取り組みのスタートと位置付けています。春闘で「労働条件の決定については、誠実な労使交渉、協議を基本とする」という労使のルールを改めて確認すること、そして、このことを管理職の中でしっかり共有することなどを求めています。

〈春闘スケジュール〉3 月 3 日回答指定日 3 月 15 日拡大闘争委員会・団体交渉 3 月 16 日統一行動日

要求書提出時に組合側から次のように発言しました。

誇りを持って働ける職場の実現を！

【組合側】現在、執行体制の協議を行っているが、新年度の執行体制について所属長が所属職員の意見を聞かずに決定し、職場が困惑しているという相談が寄せられている。また、管理職とのコミュニケーションがうまく取れず悔しい思いをしているという訴えもあり、その職員は退職も考えているということであった。コロナ過の状況では人と人のつながりが社会的に薄くなっていると感じている。管理職と職員、また職員どうしの関係性が希薄になり、そのことが仕事にも影響しているのではないかと。

現場の組合員からは、人員が不足している、時間外勤務がつけられない、休暇が取りにくいなどといった労働条件に関する基本的な部分についての訴えが度々ある。私たちはともにワーク・ライフ・バランスを進めていく立場にあると考えている。改善を求める。

仕事は人生の大きな部分を占めている。人の役に立っていると実感のできる仕事、誇りを持って働ける職場が実現できるよう取り組むこと。

物価高騰により職員の生活は脅かされている、昨年の賃金改定での給料の引き上げはすべての職員には及ばず、物価高騰への対応にはなっていない。改めて全職員の賃金改善に向けての取り組みをすること。



岩田委員長

木内副市長

労働条件に関わる組織改正 職員優先で！

【組合側】組織改正については地域づくりや長期ビジョンについて、職員に浸透していないのではないかと、また、それぞれの職員がとらえている概念が少しずつ異なっているのではないかと意見が寄せられている。組織改正は組合員の労働条件に大きく関わるため慎重に進めてほしい。長期ビジョン、組織改正を有効なものにするため、全職員が長期ビジョンの考え方を共有できるよう研修を行っていただきたい。

定年引上げ、人口減少、採用難、普通退職者が多くなっていることなど対応すべき課題は多くある。より安心して市民サービスを提供できる人員体制、職場環境改善、賃金労働条件の改善につなげられるよう前向きな協議をお願いする。

想定外の業務への対応に感謝

副市長から次のような発言がありました。

【当局側】日ごろ職員の皆さんが現場で頑張っていたことに感謝を申し上げる。業務を見てみると、もともと想定しているもの以外に、マイナンバーカード関連事務や、保育園において他の自治体で事故が発生すると、それに対応しなければならないといった業務が次々と発生しているのが実態である。現場の職員は矢面に立つ場面もあり、本当にご苦労をかけている。特に新型コロナ感染症の対応を迫られたこの 3 年間は、われわれも経験していなかった状況の中、全庁的に力を合わせて乗り切ってきた。職員に頑張っていたことに感謝する。

この 3 年間で社会状況も大きく変わってきている。新年度予算や 2 月補正の内容を見ると、税収が伸びている部分がある。個人の税の状況でも税収が伸びていたり、納税者が増えていたりする状況がある。一方、生活保護に関する相談者も増えている。このように二極分化しているような状況の中で、私たち自治体職員はすべての市民に向けて施策を打っていかねばならない。みんなで知恵を絞り本当に必要なところに対し優先順位を考えながら進めなければならない。



ベアアップ(自治労春闘キャラクター)

八王子未来デザイン 2040 共有を目的に全職員研修

【当局側】組織改正については、準備不足ということもあり、一旦仕切り直しということにした。特に八王子未来デザイン 2040 をまずはしっかり職員が共有することを目的に研修を始めるので、一緒に取り組んでほしい。それぞれの仕事の今後については、実際に仕事をして市民と接している職員からどんどん知恵やアイデアを出してもらい、それをしっかり職場の中でコミュニケーションを図り、共有し、職場環境を作っていくことが最優先と考えている。管理職に対しては職員の声を聴くように、コミュニケーションするようにと常々言っている。お互いに歩みよりながら、しっかり進めていければと思っている。

組合側の発言のなかで、人の役に立っていると実感できる、この仕事がすごく必要であり、意味のある仕事なのだと一人ひとりの職員が思えることが一番であり、仕事へのモチベーションになり、より良い職場環境を作ろうという意欲にもつながっていくという話があった。しかし、働き方に対する人生観や労働観が世代間でギャップがあることも事実である。これから入ってくる職員や最近入庁した職員が入ってくるまでに経験してきたことと、今40代50代の管理職層が役所に入るまでに経験してきたことが全く違う状況にある中では、お互いが、その背景を含めて理解をしていく必要がある。

そのような中でも私たちの仕事は、あくまでも市民にとって一番いい形をどう作っていくかということである。それは、今の市民だけではなく将来に向けてのことでもある。八王子未来デザイン2040がここでスタートするが、10年後20年後は人口構成や税収の状況は変わっていく。そのような状況の中で、サービス水準を維持していくことは現実的には難しいため、サービスそのものを市民と一緒に進めていき、地域とのつながりを作っていく、そして、そのことが新しい価値を作ることになる時代に来ている。庁内でコミュニケーションをとり、そして庁内だけではなく、地域づくりの中で市民ともコミュニケーションをとりながら新しいサービスの形を、あるいはその地域のためにいろいろ活動すること自体に、八王子に住んで良かったと感じてもらえるような、そういう活動ができるような環境を行政としてどう作っていくのか、そういうところが必要になっていく。

大きな時代の変革期でもある。人口構成も変わり、若い人たちが明らかに減っていく中でどのように進めて行くかを一緒に考えていけるよう協議できればと思っている。

組織改正は慎重に！働き甲斐のある職場の確保を！

さらに組合側から組織改正について次のように申し入れをしました。

【組合側】この間の協議では、組織改正にあたっては、八王子未来デザイン2040、特にこの肝となる地域づくりについての目的や業務内容が職員に理解された上で実施することが必須であるということを確認してきた。また、その中では職員の働き方や勤務環境も大きく変わっていくことが予想されることから、勤務労働条件に関する課題等も合わせて整理し、改善に向けて取り組んでいくとしている。

八王子未来デザイン2040と組織改正への理解を深めるための研修等や、組織改正の対象となる所管には労使による意見交換を行っていただけることとなっている。職員組合としても職場の意見をしっかりと聞き、集約しながら、その内容を踏まえて組織改正を実施していかなければならないと考えている。

地域づくりに関する職員アンケート結果を見たが、地域づくりについて理解できていない職員も多く、地域づくりを進めていくにあたり、職員の中に不安と混乱が生じているものと組合としては受け止めている。一方、アンケートの一部には、今、進めている地域推進会議をモデルケースとして、まずは進めて課題を整理していくべきではないかなど、前向きな提案をしてくれる職員も存在しているので、そういった声にも真摯に耳を傾けながら、慎重に進めていきたい。

森ヨシヒコ特別執行委員

市議会議員選挙候補予定者

私たちの声を政策に反映させるため

組織内議員が不可欠です！



欠員、過大な時間外労働、休暇取得など課題の解消を！

【組合側】働き方という点においては、木内副市長が委員長を務められている安全衛生委員会でも、職員の時間外勤務がなかなか減っておらず、有給休暇の取得も難しい職場がたくさんある。育児休業を取得しやすい職場環境の整備や、現在生じている欠員の早期解消も課題となっている。このような状況の中で、更に職員の負担が増えるような地域づくりや、そのための組織改正を進めることは職員のワーク・ライフ・バランス、ひいては職員のモチベーションにも悪い影響を及ぼしてしまうと思っている。職員が先行きの見えない「閉塞感」を感じることをないように願います。

八王子未来デザイン2040を実践するのは職員である。まず、副市長には職員のことを第一に考えていただきたい。

職員の離職は深刻な状況である。職員の生活と健康を守りたい思いは副市長も組合も同じだと思う。日々の業務に真摯に取り組んでいる多くの職員がいることを再認識していただき、市民サービスの担い手である職員の声として、職員組合の声をしっかりと受け止めること。組織改正ありきで進めることなく、職員一人ひとりが働きがいを持って業務に取り組んでいける職場環境を確保することを強く申入れる。

批准投票にご協力ありがとうございました。

批准投票の結果を右の表により報告します。

批准投票は春闘の取り組みのひとつとして行っており、賛成率等は組合員の団結力を当局に示すものとして捉えています。

今年の結果を見えますと、組合員数は減少しているものの賛成票の数は昨年より多くなっており、賛成率は過去最高の率となりました。これは組合員の皆さんの執行部への期待度が高くなっていることの現れであると感じています。なお、投票していない組合員が171名いますが、この中には育児休業中などで休業中の方が100名程度おります。また、締め切り後の提出が30名分程度ありました。

批准投票は本来、交渉の際の戦術としてのストライキ権を自治労本部に委ねることの賛否を組合員に問うものですが、現実には、この30年間ストライキを行った実績はありません。しかし、これからも労働条件の向上のためには、状況によってはストライキを行うことを背景に交渉にあたってまいります。

労働条件向上のための交渉にあたっては組合員の皆さんの後押しが不可欠です。今回の批准投票の賛成率を力に、今後もより良い職場の実現に取り組んでまいります。共に頑張りましょう。

批准投票結果		2023 年	2022 年 (参考)
組合員数	A	2,739	2,764
投票総数	B	2,568	2,638
賛成票数	C	2,494	2,489
反対票数		54	65
白票		18	84
無効		2	0
投票率	B/A	93.76%	95.44%
賛成率	C/B	97.12%	94.35%
批准率	C/A	91.06%	90.05%

八王子市職WEB ご覧ください! Jichiro8.net
ユーザー名 shisyoku8 パスワード since@1947

